

3 短期大学・高等専門学校

(1) 就職者総数は836人で、前年より11人増加している。そのうち県内に就職した者は629人で、前年より13人減少している。県内就職率は75.2%で、前年より2.6ポイント低下している。

県内就職率を学科別で見ると、社会学科、家政学科、教育学科で80%を超える高い率になっている。

県外就職者は207人で、前年より24人増加している。県外就職の状況を就職先地方別で見ると、九州120人(58.0%)、関東43人(20.8%)、近畿19人(9.2%)、中国16人(7.7%)の順となっている。

進学者総数は214人で、前年より19人減少している。県内進学率は63.6%で、前年より3.8ポイント低下している。

表5 学科別進路状況(短期大学・高等専門学校)

(単位:人、%)

区 分	総 数		人 文		社 会		工 業		農 業	
	19年3月	18年3月	19年3月	18年3月	19年3月	18年3月	19年3月	18年3月	19年3月	18年3月
卒業 者 総 数	1,260	1,294	231	221	174	205	141	142	46	32
就 職 者 総 数	836	825	149	136	111	113	90	81	35	26
就 職 率	66.3	63.8	64.5	61.5	63.8	55.1	63.8	57.0	76.1	81.3
うち県内就職者	629	642	112	106	103	109	28	23	8	14
県内就職率	75.2	77.8	75.2	77.9	92.8	96.5	31.1	28.4	22.9	53.8
進 学 者 総 数	214	233	29	21	29	53	45	52	8	6
進 学 率	17.0	18.0	12.6	9.5	16.7	25.9	31.9	36.6	17.4	18.8
うち県内進学者	136	157	6	8	22	45	23	25	-	-
県内進学率	63.6	67.4	20.7	38.1	75.9	84.9	51.1	48.1	-	-
一時的な仕事に就いた者	57	12	13	1	14	2	-	-	-	-
一時的な仕事に就いた者の率	4.5	0.9	5.6	0.5	8.0	1.0	-	-	-	-
うち県内居住者	42	7	8	1	11	1	-	-	-	-
県内居住率	73.7	58.3	61.5	100.0	78.6	50.0	-	-	-	-
そ の 他 総 数	153	224	40	63	20	37	6	9	3	-
そ の 他 の 率	12.1	17.3	17.3	28.5	11.5	18.0	4.3	6.3	6.5	-
うち県内居住者	73	131	30	44	4	15	4	5	-	-
県内居住率	47.7	58.5	75.0	69.8	20.0	40.5	66.7	55.6	-	-

つづき

区 分	家 政		教 育		芸 術	
	19年3月	18年3月	19年3月	18年3月	19年3月	18年3月
卒業 者 総 数	150	192	376	364	142	138
就 職 者 総 数	125	154	287	282	39	33
就 職 率	83.3	80.2	76.3	77.5	27.5	23.9
うち県内就職者	110	116	252	252	16	22
県内就職率	88.0	75.3	87.8	89.4	41.0	66.7
進 学 者 総 数	11	3	48	52	44	46
進 学 率	7.3	1.6	12.8	14.3	31.0	33.3
うち県内進学者	2	-	45	50	38	29
県内進学率	18.2	-	93.8	96.2	86.4	63.0
一時的な仕事に就いた者	3	2	15	7	12	-
一時的な仕事に就いた者の率	2.0	1.0	4.0	1.9	8.5	-
うち県内居住者	3	2	14	3	6	-
県内居住率	100.0	100.0	93.3	42.9	50.0	-
そ の 他 総 数	11	33	26	23	47	59
そ の 他 の 率	7.3	17.2	6.9	6.3	33.1	42.8
うち県内居住者	7	30	14	18	14	19
県内居住率	63.6	90.9	53.8	78.3	29.8	32.2

(2) 就職者の産業別就職状況をみると、医療、福祉317人(37.9%)、製造業90人(10.8%)、卸売・小売業79人(9.4%)、教育、学習支援業77人(9.2%)の順で、前年よりそれぞれ2.1ポイント低下、1.7ポイント上昇、0.4ポイント低下、1.6ポイント低下となっている。

県内就職者を産業別でみると、医療、福祉283人(45.0%)、教育、学習支援業62人(9.9%)、卸売・小売業57人(9.1%)、製造業54人(8.6%)の順で、前年よりそれぞれ1.4ポイント上昇、2.6ポイント低下、2.0ポイント低下、1.4ポイント上昇となっている。

図6 産業別就職状況の推移(短期大学・高等専門学校)

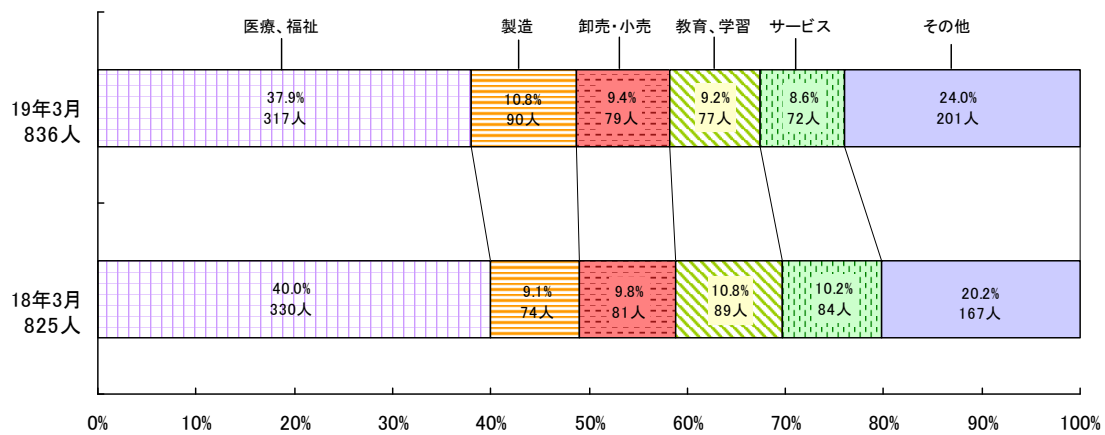


図7 産業別県内就職状況の推移(短期大学・高等専門学校)

